

能登半島地震被災地支援行動



七尾支部支援活動レポート

日時 2024年4月26日(金) 09:00~17:00頃迄
 場所 全港湾七尾支部組合事務所 集合 その後七尾支部組合員の実家にて作業
 内容 被災者宅の片づけ、家具の搬出等 その他
 参加者 七尾支部より5名、伏木支部より4名、敦賀支部より3名

能登半島地震により被災されたお家の支援活動として今回、第1回目の災害支援行動が行われました。作業の流れとしては、家の中の家具等を解体、分別しながら家の外に出し、そこから種類ごとに軽トラックに積み込み、搬出していくという流れで作業が行われました。窓ガラスは、搬出しやすいように細かく割り、外せる窓、襖などはすべて取り外し、家の中の物をすべてではないですが搬出することができました。なかには、外せない窓もあり、家が傾いていることがわかりました。とても危険な状況の中での作業でしたが、無事終わることが出来ました。実際自分の目で被災地を見るのは初めてでした。周りの家も傾いていたり、一階部分が崩れていたり、家全体が崩れて道路を封鎖していたりと、とても悲惨な状況を目の当たりにしました。まだまだ被災された家は、たくさんあります。第2弾、第3弾と支援活動は続くようなので、全港湾日本海地方が団結して石川県の復興に少しでも力になれるよう頑張っていかなければならないと強く感じました。最後に、今回の能登半島地震により被災された方、命を落とされた方のご冥福をお祈り申し上げます。

全港湾 日本海地方 敦賀支部 百田 聖治



**クレイ
タイム** 0057

第0057号 2024年6月3日発行
 全日本港湾労働組合 発行日：随時

七尾支部支援活動レポート

日時 2024年5月22日(金)午後～23日昼
場所 茶畑委員長の実家にて作業
内容 被災者宅の片づけ、家具の搬出等 その他
参加者 新潟支部より4名、舞鶴支部より3名

今回七尾支部支援活動第二部ということで、22日の午後入りで23日昼までという日程で新潟支部から4名、舞鶴支部から3名で七尾の茶畑委員長の実家に行かせていただきました。

行く道中の道路は陥没し片側しか通れないところや、周りの家の屋根は瓦が落ち、ブルーシートのかかった家が大変多くあり、能登半島地震の被害の大きさを目の当たりにしました。

初日は廃棄する家具等の受け入れ先が休みということもあり、家の中から出して、ある程度仕分けする作業でした。

2日目は七尾支部の方々の軽トラック数台に前日に出した家具等を積み込みピストンする作業でした。昼までということで少しだけ残りましたが、ほとんどの家財が搬出できました。

廃棄する家具等の搬出先についても毎日持っていけるわけではなく、持っていける日でもすごく混雑している状況だと七尾支部の方々から聞きました。

まだまだ復旧、復興の目処がたたない状態ですが、こういった横の繋がりを活かして少しでも七尾支部の組合員の助けになるこの活動を今後も続けていけたらと感じました。

全日本港湾労働組合日本海地方舞鶴支部 副執行委員長 川端 勇志

5月22日～23 第2弾

